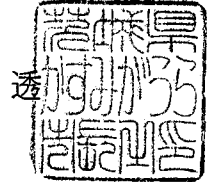


か道管第 552 号
平成20年10月28日

国土交通省道路局長 殿

かすみがうら市長 坪 井



今後の道路行政についての意見・提案について (回答)

平素より、本市の道路行政の推進につきましては、特段のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付 国道企第37号にて依頼のありました件につきまして、別添のとおり回答いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式①

茨城県かすみがうら市

道路の整備に要する期間が長く計画された期間で、完成されることは、少ないと感じる。それなりの事情があつてのこととは思いますが、計画された期間での整備をお願いしたい。

省エネや温暖化問題などの関心の高まりで、自転車への関心の利用者が増えております。歩行者の安全対策は最重点ですが車両対自転車、歩行者対自転車の交通安全対策を検討していただきたいと思ひます。

ETCスマートICが整備され大きな効果をもたらしていると思ひます。さらに、これらを利用し部分的な渋滞緩和策として、利用料金の見直しや時間的比較の情報提供等利用しやすい方策を検討していただきたいと思ひます。

道路排水について、国道が整備され、当時としては問題が無かつたと思ひますが、流末の整備されない部分が見うけられます。今後対策が必要になるのではと思ひます。

今後の道路行政についての意見・提案
②ー1 地域の現状と抱える課題

様式②
茨城県かすみがうら市

○現状 本市には、常磐自動車道、国道6号・354号及び県道等を主軸として幹線道路が整備されています。しかし、国道6号の慢性的な交通渋滞や霞ヶ浦大橋の無料化に伴う国道354号の増加交通量への対策などや体系的整備が必要である。 また、国道355号石岡有料道路の無料化により、石岡市柏原工業団地方面への交通量の増加が考えられ県道石岡つくば線の早期整備が必要になっている。	○課題 国道6号バイパスの早期整備 (慢性的な交通渋滞) 国道354号バイパスの早期整備 (霞ヶ浦大橋無料化による交通量の増加) 県道石岡つくば線の早期整備 (交通渋滞)
---	---

霞ヶ浦により分断されている交通アクセスの改善のため霞ヶ浦二橋の建設
国道6号千代田石岡バイパス、深谷大和田バイパスの整備

狭隘道路等の解消
交通安全施設の整備

以上、主な路線の整備を推進するとともに、幹線道路の整備を図り円滑な交通を目指す。また、霞ヶ浦の
観光資源としての活用や果樹観光などの産業などの振興を視野にいれ関係機関との連携を図り推進する。